

第 3 回世界形選手権大会

1. テクニカルインフォメーション

1.1.開催期間

2011 年 6 月 14～15 日、ドイツ・フランクフルト/マインで行う。

6 月 14 日(火) 投の形、固の形、柔の形

6 月 15 日(水) 極の形、講道館護身術

1.2. 参加

各形について、連盟からのエントリー数の制限はない。

選手は、1 つの形のみエントリーすることが出来る。

選手は、自身の国籍とエントリー国は一致しなければならない。

二重国籍者は、うち1カ国からのみ出場可。

国籍を変更して3年未満のものは、新たに国籍を取得した国の代表として参加できない。ただし、当該国である両国が新しい国からの出場に同意し、IJF が承認した場合はこの限りではない。(オリンピック憲章 42 条による)

1.3. 年齢・階級

2011 年 1 月 1 日の時点で 18 歳以上(1993 年以前に生まれた者)、初段以上。ペアは同姓同士、異性同士のいずれも可。

1.4. 形

本大会で競技する形は5種類(投の形・極の形・固の形・講道館護身術・柔の形)。

審査は、講道館編集のビデオを参照に IJF 形大会規定に沿って行う。

1.5. 参加登録(Registration)

参加登録は IJF に所属する連盟が行う。個人での登録は受け付けない。

・選手名登録(Nominal inscriptions)

選手名登録(Nominal inscriptions)は、2011 年 5 月 21 日までに主催者に送付すること。
(添付資料 1 の締切と Form3 を参照)

全てのエントリーはインターネットを通じて行うこと。www.wc-frankfurt-2011.de

参加費

連盟は必ず、選手ごとに参加費を支払わなくてはならない。参加人数をエントリーした時に支払うこと。

参加費は、選手 1 人あたり 100 ユーロで、ドイツ柔道連盟に支払わなくてはならない。(添付 3 を見る)

締め切り後の支払は、1 人 150 ユーロとなる。

一度、参加費を支払うと、たとえ試合に出なかったとしても返金はない。

1.6. 連盟の責任 (CONTROL OF NATIONS)

a. 支払い

各連盟は年会費やその他支払うべき費用を IJF へ納めているものとする。参加費は IJF に支払うこと。その他、連盟は、主催者と IJF に対して必要な経費を全て支払っていること。

b. エントリー

身分証: 参加者の国籍・年齢 (各国の代表が各選手のパスポートを IJF スタッフに提出すること。)

c. アクレディテーション

登録した全ての選手のリストが、ドイツ柔道連盟から発行される。各選手団の代表者によって、そのリストが確認され、それが最終的なリストとなる。リストはエントリーの締め切りが終わった 24 時間後に発行される。

各演技の前に、IJF アクレディテーションカードを提示すること。

レジストレーションの時間は、プログラムに記載される。

全ての参加者はレジストレーションに行かなくてはならない。

1.7. 道衣

ユニフォーム

- ・ 強度のある綿、またはそれに類した原料でつくられ、状態の良いもの (ほころびや破れの無い物)
- ・ 大会では、白柔道衣を着用すること。
- ・ 上衣は、太ももを覆う長さがあること、又は少なくとも手を体の横に伸ばした状態でつけた時の拳の位置までであること。上衣は、左側を上にして着用し、重なっている部分はアバラの下辺部から、少なくとも 20cm はあること。
- ・ 上衣の袖は、最長で手首まで、最短で手首から 5cm まで。腕と袖の間 (ゆとり) に関しては、全体的に 10cm から 15cm とする。
- ・ 下穿は、脚を覆うだけの長さがあり、最長で踝まで、最短で踝から 5cm とする。脚と下穿の間 (ゆとり) に関しては、全体的に 10cm から 15cm とする。
- ・ 黒帯は、幅が 4cm から 5cm で、腰に 2 回巻き、結んだときに左右共に長さ 20cm から 30cm あるものを使用すること。
- ・ 女性選手は、柔道衣の下に強度があり、下穿に入れられる長さのある、無地で半袖の白シャツを着用すること。
- ・ IJF 形世界選手権のゼッケンは、上衣の後に貼り付けていなければならない。エントリーの時にゼッケンの注文が出来る。以前のゼッケンをつけたまま競技をすることは認められない。
- ・ 草履 (zori) やスリッパも、ユニフォームの一部とみなす。

許容される広告について

- ・ 国旗については、上衣の左胸に、100cm² 以内の大きさでつけることが出来る。
- ・ 製造者商標マークについては、上衣の左下部、下穿の左側下部、帯につけることが出来る。
- ・ 襟から肩の下部分までのマークについては、両サイドに同じ広告、またはナショナルカラーを最大長さ 25cm、最大幅は 5cm で入れることが出来る。

衛生

- ・ 柔道衣は衛生的に良い状態で、乾いており、匂いのしないもの
- ・ 手足の爪は、短く切っておくこと。
- ・ 選手の衛生面については、良い状態であること。
- ・ 長い髪に関しては、ゴムで縛っていること、
- ・ メガネ、宝石などの着用は、禁止とする。
- ・ 化粧は、認められない。
- ・ ゼッケンは、既に柔道衣に縫い付けられていなければならない。

1.8. バックナンバー

選手は、大会の公式バックナンバーをつけなくてはならない。料金を支払えば、大会会場で縫い付けるサービスをドイツ柔道連盟が提供する。このゼッケンは(大会ホームページを見ること)2011年5月21日までに前もって、エントリーと一緒に注文することが出来る。このゼッケンは、レジストレーションの時に配布される。

1.9. 各連盟の責任

a. 診断書

参加者の性別証明と診断書、共に不要。参加者は、各連盟の責任のもと競技に参加することとする。

b. 保険

各連盟は、大会期間中、所属する選手の怪我や民事責任等に係る責任を負うこととする。

各選手は試合を行う日は、必ずドイツの特別健康保険に入らなくてはならない。1人、5ユーロで、エントリーと同時に直接予約される。

IJFは一切の責任を負わない。

c. 参加姿勢

世界形選手権大会での選手の態度や振る舞いについては、各連盟責任をもつこと。

1.10. アンチ・ドーピング (ANTI-DOPING)

世界形先週大会ではアンチ・ドーピング検査は行わない。

2. 審判 (Judges)

2.1. COMPETITION FORMULA

各形は、2つのグループに分けられ、各グループの上位3組(各形合計6組)が決勝に進出。予選ラウンドでは、4試合場を使い、決勝は1試合場で行う。仮に、参加する組が10組未満だった場合、1つのグループで行い、上位6組が決勝に進出する。

各形に、最高得点の組に金メダル、以下銀メダル、銅メダルを授与。

各形において、以下の賞を表彰する。

- ベスト男性組
- ベスト女性組
- ベスト男性・女性組

2.2. ポイントシステム

各テクニックとは最初と最後の礼は、最高得点は 10 点とする。

最高得点からミスが減点する。

全ての形のテクニックの評価は、技の原理と理合いによって評価される。

(最初と最後の礼も含む)評価は、全体的に行われる。

間違いによる減点

- ・ 演技忘れ
 - 演技の得点 - 0 点
 - 合計点数を半減
 - 演技を忘れたものが 2 つ以上ある場合、技の得点は 0 となるが、合計得点を再度半減することはない。小数点以下繰り上げ。
- ・ 大(Big):
 - 技の原理が正しくない場合
 - 間違いの程度 - 5 点
 - 最大失点回数 - 1 回
- ・ 中(Medium):
 - 1 つ、もしくはそれ以上に技の原理の要素が正しくない場合
 - 間違いの程度 - 3 点
 - 最大失点回数 - 1 回
- ・ 小(Small):
 - テクニックが完璧でなかった場合
 - 間違いの程度 - 1 点
 - 最大失点回数 - 2 回

全てのテクニックで大きな間違いがない場合は、最少スコアは 5 点。

最初の礼から最後の礼まで、流れ、テンポ、リズムに基づいて評価を行う。

(礼を含む)

- 大きな間違いがない場合は、最少点は 5 点、最高点は 10 点なる。
- 大きな間違いがあった場合(礼を含む)は、最高点が 5 点になる。
- もし技を忘れた場合には「流れ、テンポ、リズム」のスコアを 0 点とする。

投の形については、右と左の技で総合的な得点を与える(右と左でそれぞれ得点をあたえることはない)。

形の組は、正面と反対の所から、入場・退場すること。

形の始めと終わり(始めと終わりの礼)は 10m の距離で行うこと。

取と受が形の精神に反するような振る舞いを試合場内で行った場合、礼儀のポイントから減点する。

合計得点と同じ場合 - 以下の基準が適用される。

大きな間違いの合計 - 間違いの少ないものが勝者

まだ合計得点が並ぶ場合:

中程度の間違いの合計 - 間違いの少ないものが勝者

まだ合計得点が並ぶ場合:

小さな間違いの合計 - 間違いの少ないものが勝者

まだ合計得点が並ぶ場合:

流れ、テンポ、リズムの得点により決定- 得点の高いほうが勝者

2.3. 審査システム

各形は、IJF 形委員会監督の下、5 人の審査員によって評価される。

5 人の審査員は、正面に位置し、各審査員の距離は約 1m とする。

中立のルールが適用される。-同じ国の組は審査できない。

審査員の位置は、大会を通じて同じ所とする。

仮に、一時的に退席した場合、戻ってきた時は同じ場所に戻る。

審査員は、競技者として参加することは出来ない。

審査員は、常に競技者が試合場に入場する前に着席していなければならない。

選手は、正面の反対側中央に入り、それからそれぞれのコーナーに行く。

中央にいる審査員が立ち上がり、手の平を上にして、腕を伸ばし、選手を試合場に入れる(合図をする)。

各審査員は、IJF 公式スコアシートにポイントを記入する。

各技の最高得点と最低得点はキャンセルされ、残りの 3 人のポイントが最終的なスコアとなる。(始めの礼と終わりの礼も含む)

2.4. 抽選

大会の前日にグループの分けの抽選を行う。

2010 年の世界形選手権大会のメダリストは組の長として 2 つのグループに分けられる。この組は各グループの最後に形の演武をおこなう。

抽選時にはジャケットスーツとネクタイをしなければならない。

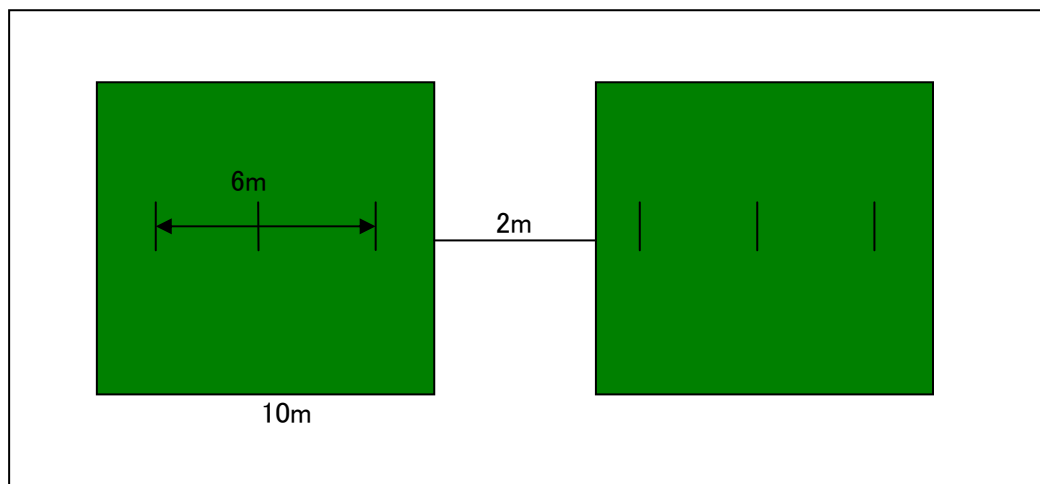
決勝の抽選は、予選の後にスポーツホールで行う。

2.5. 競技エリア

競技エリアの面積: 10 x 10 メートル、畳あるいは同様の素材で覆われていること。

試合場は、弾力性のあるフロアに固定されていなければならない。

2 試合場以上を設置する場合、各試合場には2メートルの安全エリアを設けること。



受と取の立ち位置を示すため、競技エリアの中央に、幅 10 センチ×長さ 50 センチで見やすい色の粘着性テープをつける(間 6 メートル)。
試合場の中央部分に張るテープについては、同じ色の物を使用する。

2.6. 審査員のレベル

大会は、IJFとコンチネンタル形審査員の資格を保有する者によって判定される。形ルールは、IJFにより発行されているものに沿うこととする。

2.7. 申込

各連盟の審査員の人数の上限は、以下の通りとする。

参加国 審査員3名まで

不参加国 審査員2名まで

エントリー人数により、IJF形委員会が審査員の人数を決定する。

各参加連盟は、IJFかコンチネンタルの資格を持った審査員1名を派遣すること。
連盟からエントリーされた審査員のみが、審査をすることが出来る。

審査員の旅費、食費、宿泊費に関しては、審査員の所属する連盟が負担することとする。

審査員の申込は、2011年5月13日までに、ドイツ柔道連盟に送ること。
添付1を見ること。申込書はForm5として同封されている。

2.8. 審査員セミナー

全ての審査員は、世界形選手権大会の2日前までに到着し、2011年6月13日に行われるテクニク会議に出席すること。それをもって、審査員として大会に参加できること。審査員だけが、このセミナーに参加する事が出来る。

2.9. 怪我、病気、アクシデント

競技中に、怪我、病気または何らかの事情により、受もしくは取が競技を継続できな

い場合、その組の審査は行わない。

出血、爪のはがれ、コンタクトレンズが外れるなど小さな問題が起こった場合は、審査員の判断により、形の競技を一時中断し、試合場外でドクターの処置を受けることが出来る。その間も大会は継続され、その組は最終組の後に再度最初から形を行う。2回目の競技の時に、同じ選手に新たな小さな怪我などが起きた場合には、その組の審査は行わない。

形の技を忘れた後に、小さな怪我が起こった場合、その組の審査は行わない。